

e-ビーフNEWS 北の牧場から

November 2016

十勝の初雪

先日の夕方、日没寸前に天候が急変し、風が吹くとともに初雪が降りました。今年の降雪は早いと思いましたが、ついに来たという感じです。札幌・旭川では積雪が観測されました。例年11月に入ってからタイヤ交換(冬タイヤ→スタットレス)に履き替えますが、直ぐにも替えないとヤバイ感じです。この積雪で、山々が白い衣をはおりました。日高山脈の峰々が真白に変わりそのシルエットがくっきりと濃紺の空に映えます。木々は紅葉になるやいなや早く落ち葉となり冬へ急いでいるかのようです。

今年は野山も不作で、ドングリの実が少なくこれを餌にする冬眠前のヒグマに異変。街に出没情報が各地で流れています。今来られると人通りのない町の歩道にクマが闊歩しているかもしれませんよ。畑も最終章、豆が半減、ビート、馬鈴薯3割減、さてさて十勝の経済はどうなるのでしょうか。



活動のお知らせ

- 10月31日～11月1日 新ひだかコミセン 北海道肉牛研究会大会開催
 11月 3日(木) 島根県ビックハート出雲 日本産肉研究会 第18回学術集会
 11月 5日(土) 京都大学農学部 畜産システム研究会第30回大会および総会
 11月10日(木) とかちプラザ 地方特定品種全国推進会議・日本短角種産地交流会
 11月11日(金) 北海道畜産公社 第4回北海道肉専用種枝肉共励会開催
 とかちプラザ 第13回資源循環型肉牛生産シンポジウム2016開催

※開催要項・案内は随時発行致します。

NEWSばか読み

- 農林水産省 産地台風被害でバター4,000t追加輸入
9/28:過不足調整と指定団体問題
- 豆腐業界 価格低下で中小企業倒産進む 9/28:水増し豆腐に限界
- WTO 大気汚染で300万人死亡 9/28:影の戦死者
- 林野庁 木材自給率2.1%増加33.3%バイオマス利用
9/29:森林循環は大丈夫?
- 東芝 世界最大の水素工場建設 9/29:原発より良いと思うよ 東芝さん
- 起業環境 日本81位 NZに比べ8倍の煩雑さ 9/29:行政簡素化の必要性
- 居酒屋チェーン鳥貴族 全ての食材国産化 9/30:ひとつの流れ
- 北海道日本ハムファイターズ 4年ぶりのリーグ優勝 9/30:明るいニュース
- 農林水産省 タイへの牛肉輸出月齢制限解除
10/1:その前にタイの国内問題が...
- 政府 特区の農業分野で外国人労働者受け入れ検証 10/2:
- 日本缶詰 台風被害で操業停止 国内シェア75%の原料受入れできず
10/3:スイートコーン粕の生産なく畜産にも影響力甚大
- 全国肉牛事業協同組合 和牛牛牛の相場 来年も高値予測
10/3:経営組み立てできず
- Jミルク 酪農基盤強化に基金設立 10/4:牧場を自前で建設しませんか
- ノーベル賞 3年連続で日本人受賞
10/4:知られていない先輩方々の功績に拍手
- 16年度 飼料米転用 1.1万ha増 10/4:飼料米増えて梯子外すな
- 日銀 9月短観 もたつく景気長引く 円高 10/4:実体経済
- パリ協定 EU批准承認11月発効確実 10/5:もたつく日本出遅れる
- 農林水産省 全加工食品に原産地表示を例外規定付で義務付け
10/6:例外の粹気がかり

- 農研機構東北 耐雪性イタリアンとトウモロコシの2毛作検証
10/7:土地有効性拡大
- 政府 農産物輸出で販促組織結成 10/7:旗降れど踊らず
- 森林総研 和製トリュフを発見 10/7:放牧豚を利用しよう
- 北海道 台風被害でデンブン・製糖工場の原料不足が深刻
10/10:1次から2次被害、地域経済が破壊される
- 菓子メーカー「シュゼット」浜中町新規就農酪農家に子牛をプレゼント
10/10:還元歓迎
- 無印良品 生鮮食品を販売開始 不揃い野菜を格安に
10/10:販売業種の多様性
- 静岡県 紅茶のポリフェノールでノロウイルス消毒に有効
10/12:赤ワインもOK?
- ホクレン家畜市場 初任牛75万円過去最高に迫る 10/12:酪農もやりづらい
- 北九州市 中国環境保護省と大気汚染改善で覚書締結 10/13:
- 農林水産省 川西長いもをGI(地理的表示)で認定 10/13:今年是不作
- 政府 液体ミルク解禁に向け検討 10/18:ミルク需要の新たな発掘
- 野菜高値長期化予想 産地長雨台風被害深刻 10/19:精肉販売にも影響
- 北海道 4年連続で鳥獣被害減少 エゾシカ対策奏効 10/20:カラス・ヒグマ増
- 全農 飼料用トウモロコシ 宮城で水田利用しテスト栽培初収穫
10/21:
- 伊藤ハム・米久HD 鳥取県に養鶏場新設ブランド化に 10/21:インテ進む
- 百貨店9月販売 5%減7ヶ月連続 10/21:インバンドどこに
- 米国 20年ぶり原発新設(テネシー州) 累計100基 10/21:
- 徳島県 温室効果ガス排出ゼロを目指し全国初の条例化 10/25:北海道は...
- 農林水産省 食品加工などの工業用地転用に柔軟姿勢 10/25:農地法の無力化
- スーパー9月上売 天候不順で3.2%減 10/25:消費経済の落ち込み顕著
- 福岡県 種苗メーカー 野菜種子の国産化で発芽率向上 10/26:J種子に期待
- 経産省 福岡廃炉試算 年数千億円に膨れ上がる30年間 10/26:えっ

東京直近NEWS (10/29 Shi-REPORT)

ホルス 販売状況は大きく好転していないが、底を脱した感もあり、徐々に荷動き問合せは増えてきている。気温の低下とともにスライス物の問合せが若干増えてきており、クラシタを中心に引合いが強まってきている。赤身部位は引き続き鈍い状況も、価格次第の状況か。バラ系と赤身を組み合わせた切落しが、季節柄若干引合いがでてきており、バラの消化として産地サイドは重宝している。ただし、バラ自体の動きは非常に鈍い。ロイン系の動きに期待しているが、現時点ではこちらも鈍くボジョレーや勤労感謝の祝日に期待。

経産牛 道内の生体市場は先月まで出荷頭数多く相場も下落した。10月以降相場の大きな回復もないまま、ガリものは安定傾向の相場。今後の出荷頭数動向が気かりではあるが、販売状況は鈍い。焼肉商材としてのスペックアイテムやバラ系など全般的にパーツの荷動きが鈍く、冷凍在庫も各社物量抱えている模様。挽材についても、動きは悪いままの状況であり、年末に掛けさらに動きが鈍くなると同時に、年内12月決算期でもあることから、在庫処分対象として価格対応品が横行する可能性もある。相場がやや下げ傾向と在庫も潤沢なことから、先々挽材は下げ相場で推移していくのではないかと。

左先生の畜産学研究NEWS

世界の政治経済への影響が大きい米国大統領選挙の行方を占う3回のテレビ討論会は、政策論争ではなく激しい非難の応酬に終始して日本人の多くは失望しました。保守の共和、改革の民主、どちらの政策かもよく判らず米国民が消去法で選んだ人が世界を牽引すると考えると将来暗澹たる思いです。これが政治の世界なのですが、世界をリードする指導者も出ない日本では自然相手の農業生産体制を真剣に考えない政治に若者が不安感を持つのは当然です。e-びーふNews35号の学術情報は、今年3月に行われた日本産肉研究会と「畜産技術」からです。9月開催予定の北海道畜産草地学会大会は台風災害で中止となり情報には掲載しません。

1. 日本産肉研究会第17回学術集会(2016.3.30日獣大)シンポジウム「TPPにおける赤身牛肉の可能性は？」

S1:1) 世界の研究動向報告: 持続可能な家畜生産を目指す国際学会に参加して(松崎正敏: 弘前大)

2016年1月に英国プリストール大開催の"Global Farm Platform Intrenational Conference-Steps to Sustainable Livestock- という欧米中心の研究者183名の国際会議です。2050年問題とされる地球規模の食料危機対策には動物福祉と国土保全の観点から牧草を活用した必要最小限の家畜生産と疾病管理が重要です。

2) 健康社会に向けて: 牧草牛の可能性とその国内生産の意味とは?(斎藤 穂三:(株)日本機能性医学研)

日本ファンクショナルダイエット協会は、 $\Omega3/\Omega6$ 脂肪酸比がよいNZ牧草牛に着目し、ドライエイジングで抗酸化力を高めケトジェニックダイエットに相応しいという医学的根拠から「健康牛」肉としての有効性を明らかにしました。

S2:3) 外食産業における食材としての牛肉の現状と展望(城後 稔: ロイヤ

ルホスト(株))

ロイヤルホストを事例に外食産業の牛肉食材は、冷凍技術を駆使した米国産乳用種牛などから豪州産牛・国産牛そしてUSDA認定のアンガスビーフへの赤身肉に推移しています。今後は国産牛(和牛)の品種選定、穀物と牧草の組み合わせなどに取り組みを開始します。

4) 赤身牛肉の消費動向について(小島康成: (株)小島商店)

特選松阪牛や飛騨牛の霜降り和牛主体の都心大手百貨店の精肉店でも北里八雲牛などの赤身牛肉には健康志向などから関心が高まっていますが、柔らかさや高級感への配慮が大切のようです。

5) スーパーマーケットにおける赤身牛肉食材の展望(宮村 朗: イオンリテール(株))

総合スーパーの多様な牛肉食材中スモールマスの赤身牛肉は多様な価値観で注目されますが、消費には購入理由の正当性の理解が必要です。海外産赤身牛肉の中核として40年間タスマニアビーフ(ブラックアンガス)を販売強化するために直営牧場の肥育環境の維持や豪州政府のSQFシステムによる食品の安全と品質を確保しています。

2. 畜産技術2016.9 研究レポート「トウモロコシ子実飼料主体サイレージの飼料成分組成、発酵品質および栄養価」(大下友子: 北農研セ)

トウモロコシ子実主体サイレージは海外の自家用乳・肉用牛向け濃厚飼料です。芯を含めたコーンコブミックス(CCM)と子実のみのハイモイスチャーシェルドコーン(HMSC)があり、わが国で発酵品質や栄養価を試験すると、HMSCのTDNは90.4-91.4%でCCM 80.4-88.8%より高く、均一性に優れ、NRCの輸入トウモロコシ子実に匹敵する栄養価と思われました。

道総研 畜産試験場NEWS

「育成期および肥育期におけるサイレージ給与法」⑥ 全6回シリーズ 道総研 畜産試験場 肉牛グループ 遠藤 哲代

和牛繁殖牛・子牛の飼養管理 市場評価の高い子牛を育てるために



体尺値からみた市場で評価される子牛の体型

去勢牛(8~9か月齢)
胸囲: 160cm以上=体重 300kg以上
腹囲: 180cm以上
体高: 115cm以上

雌牛(9~10か月齢)
胸囲: 158cm以上=体重 280kg以上
腹囲: 180cm以上
体高: 110cm以上



市場評価が今一步の農家

- 出荷体重がやや小さい
(去勢: 9か月齢 250~300kg)
- 出荷月齢がやや遅い
(去勢: 10か月齢~)

何が問題?

